

安全データシート (SDS)

作成日 2008年 6月 20日

改訂日 2018年 5月 26日

1. 製品等及び会社情報

製品名： 蓄冷材 クールプラネット -15℃タイプ 500ml PE

製品コード： 15XA-050H

会社名： 株式会社プラネット

住所： 愛知県名古屋市南区北頭町4丁目94番地

担当部門： PM事業所

電話番号： 052-611-7110

FAX番号： 052-611-7132

E-MAIL： pm_div@planets-japan.com

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）： 区分5

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性： 区分2B

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分2（神経系）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分1（全身毒性）

環境有害性

水生環境急性有害性： 区分2

水生環境慢性有害性： 区分2

（注）記載なき GHS 分類区分：該当せず/区分外/分類できない/分類対象外

GHS ラベル要素

シンボル



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 飲み込むと有害のおそれ

眼刺激

臓器の障害のおそれ

長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策： 全ての安全注意をよく読み、理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。取扱い後はよく手を洗うこと。

応急措置： 飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄すること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断および手当てを受けること。

暴露した場合

暴露または暴露の懸念がある場合は、医師に連絡すること。

保管： 紫外線を避けて、涼しく換気の良い所で保管すること。

廃棄： 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： 相変化物質

成分及び含有量：

成分名	濃度(%)	CAS No.	官報公示整理番号		労働安全 衛生法	毒劇法
			化審法	安衛法		
塩化アンモニウム	非公開	12125-02-9	1-218	既存	表示・通知	非該当

※上記以外の成分：

SDS 制度の対象となる「第一種指定化学物質」及び「第二種指定化学物質」を含まない。

労働安全衛生法 表示・通知対象物質 及び 毒物劇物取締法の対象物ではない

PRTR 法対象物質： 含有しない。

4. 応急措置

眼に入った場合： 直ちに多量の清浄な水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合： 多量の清浄な水で洗浄すること。痛みがある場合、若しくは皮膚に刺激がある場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 清浄な水で口をよくすすぎ、無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い場合は医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

- 使用可能な消火剤： 周辺火災に適合した消火剤を使用する。この製品(内容物)自体は燃焼しない
- 使用不可な消火剤： 特になし。
- 特有の危険有害性： 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火のための放水等により、環境に汚染を引き起こすおそれがある。
- 特有の消化方法： 特になし
- 消火を行う者の保護： 火災の種類に合った保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
皮膚に付着しないよう気をつける。作業の際は、保護手袋、保護眼鏡を着用して行う。
- 環境に対する注意事項： 上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
- 封じ込め及び浄化の方法： ペーパータオル・ウエス等で拭き取って回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 凍結した本品を素手で長時間取り扱わないこと。
長時間取り扱う場合は耐寒手袋を使用すること。
- 取扱注意事項： 堅い物や鋭利な物にぶついたり、落としたりしないこと。
- 接触回避： 人体には使用しないこと。
- 衛生対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 安全な保管条件： 直射日光の当たる場所や高温になる所を避け、風通しの良い場所で保管すること。
容器の軟化や変形のおそれがあるので、火気や高温物の近くに置かないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度： 設定されていない
- 許容濃度： 日本産業衛生学会（2017年度版）/ リストされていない。
ACGIH（2017年度版）/ リストされていない。
- 設備対策： 特に必要としない。
- 保護具： 通常の手袋では不要
- 目に混入する可能性がある場合は、ゴーグルまたはシールド付保護眼鏡を使用すること。
必要に応じて個人用の保護手袋、保護衣、保護面を使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
-

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

性状： わずかに微濁した粘性液体

色： 無色

臭い： 無臭

pH 値： 中性

比重・密度： 1.15 g/cm³(20℃)

融点・凝固点： -25 ℃

引火点・発火点： なし

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性： 通常の取扱いにおいて化学的に安定である。

危険有害反応可能性： 情報なし

避けるべき条件： 特になし

混触危険物質： 該当物なし

危険有害な分解生成物： 該当物なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）： ラット LD50 2000mg/kg 以上 区分 5

皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 区分外

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性： 区分 2B

呼吸器感受性又は皮膚感受性： 区分外

生殖細胞変異原性： 区分外

発がん性： 分類できない

生殖毒性： 分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分 2（神経系）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分 1（全身毒性）

吸引性呼吸器有害性： データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性： 区分 2

水生環境慢性有害性： 区分 2

オゾン層への有害性： 分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

残余物を廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託すること。

残余物や洗浄液は直接環境中（河川・湖沼・下水道等）に廃棄してはならない。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上委託すること。

汚染容器及び包装：

使用後の空容器は内容物を完全に除去してから廃棄物処理業者へ委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号： 非該当

国連分類： 非該当

容器等級： 非該当

海上規制： 規制なし

航空規制： 規制なし

国内規制

陸上規制： 規制なし

海上規制： 規制なし

航空規制： 規制なし

注意事項： 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を行うこと。

15. 適用法令

消防法： 非該当

労働安全衛生法： 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物：No.96 塩化アンモニウム

化学物質管理促進法： 非該当

毒劇法： 非該当

その他： 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他の情報（参考および引用文献等）

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE 化学物質総合情報提供システム（CHRIP）

日本工業標準調査会 JIS Z 7252 GHS に基づく化学品の分類方法、JIS Z 7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報、ACGIH 化学物質の許容濃度値（2017 年度版）

国際化学物質安全性カード（ICSC）

日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告（2017 年度）
